

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
桑員地域	桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町・桑名広域清掃事業組合	平成24年度～平成28年度	平成24年度～平成28年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成22年度)	目標 (割合※1) (平成29年度) A	実績 (割合※1) (平成29年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	15,851t	15,503t (△2.2%)	17,982t (13.4%)	16.0%
	1事業所当たりの排出量	0.7t	0.7t (0.0%)	1.0t (42.9%)	42.9%
	家庭系 総排出量	55,086t	54,965t (△0.2%)	50,058t (△9.1%)	△8.9%
	1人当たりの排出量	101kg/人	97kg/人 (△4.0%)	96kg/人 (△5.0%)	△1.0%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	70,937t	70,468t (△0.7%)	68,040t (△4.1%)	△3.4%	
再生利用量	直接資源化量	11,146t (15.7%)	11,038t (15.8%)	6,053t (8.9%)	△45.2%
	総資源化量	43,703t (60.7%)	43,951t (61.5%)	38,048t (55.1%)	△13.4%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	- MWh	- MWh	- MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	23,472t (33.3%)	23,350t (33.4%)	28,383t (41.7%)	21.6%
最終処分量	埋立最終処分量	4,304t (6.1%)	3,699t (5.3%)	2,671t (3.9%)	△27.8%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績B /目標A	
総人口	142,236	143,019	142,791	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	95,045	104,564	103,579	99.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	66.8%	73.1%	72.5%	99.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	2,337	2,087	2,085	99.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.7%	1.5%	1.5%	100.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	15,551	18,215	18,149	99.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.9%	12.7%	12.7%	100.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	29,303	18,153	18,978	104.5%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	廃棄物全般の有料化に向けて検討していきます。	平成24年度～ 平成28年度	<p>【桑名市】平成27年に、リネットジャパンと協定を結び、宅配便を活用したパソコン及び小型家電の個別回収を実施しました。(主要な小型家電の料金：20kg以内1,500円)</p> <p>【いなべ市】検討を行いましたが、廃棄物全般の有料化には至りませんでした。</p> <p>【木曾岬町】当町では、一般廃棄物全般にわたって、すでに有料化しています。また、料金改定については、平成27年4月に町指定のごみ収集袋(可燃・不燃・容リプラ)の値段変更を行い、平成29年度の桑名市・東員町との1市2町による値段・規格の統一に向けて協議を行いました。</p> <p>【東員町】料金改定について、平成29年度に町指定のごみ収集袋(可燃・不燃・容リプラ)を桑名市・木曾岬町との1市2町による値段・規格の統一に向けて協議を行いました。</p>
	12	環境教育、普及啓発	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	学校や地域の住民に対し、ごみの分別や再資源化の大切さを普及啓発します。	平成24年度～ 平成28年度	<p>【桑名市】定期的に環境学習や外国人向けのゴミの出し方の説明会を開催し、ごみ減量と再資源化を図りました。</p> <p>【いなべ市】小学校での環境学</p>

						<p>習（ごみ処理施設の見学を含む）、中学生によるごみ収集体験、集積場での塵芥収集車の見学や自治会へのリサイクルのための分別指導などを開催しました。</p> <p>【木曾岬町】学校では、小学4年生を対象に「リサイクルの森」（ごみ処理施設）の見学、町職員によるごみ処理の出前講座及び塵芥収集車への積み込み状況の見学会を実施しました。また、地域の住民に対しては、報酬や補助金を交付しながら、再資源化の普及啓発を図りました。</p> <p>【東員町】小学校や地域の集まりで出前講座による授業などを実施しました。</p>
13	資源物回収事業	桑名市	自治会における資源ごみ回収ならびにリサイクル推進施設及び市内大型スーパー駐車場で資源物回収を実施し、資源物を出しやすい環境を整えます。	平成24年度～ 平成28年度	自治会回収、リサイクル推進施設回収、スーパー等駐車場拠点回収を継続し、資源化の推進を図りました。	
14	助成 （ごみ減量対策）	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	家庭において容易にごみを原料することができるコンポスト等の助成を推進します。	平成24年度～ 平成28年度	<p>コンポスト・生ごみ処理機等の購入に対して助成し、普及啓発を図りました。</p> <p>（事業実施期間中の助成実績）</p> <p>【桑名市】213世帯 【いなべ市】82世帯 【木曾岬町】26件 【東員町】92件</p>	

15	助成 (資源ごみ回収事業)	木曾岬町、東員町	資源ごみ分別回収を行う自治会・団体等に対し、報奨金・助成金の交付を行います。	平成24年度～ 平成28年度	【木曾岬町】毎月第4日曜日に行う各地区自治会及び登録申請のあった団体による資源ごみ回収に対して報酬、補助金を交付しました。自治会等延べ231団体：総額10,694,650円（事業実施期間中） 【東員町】資源ごみ回収に対して、資源ごみ収集団体育成助成を行いました。自治会等延べ244団体：総額32,296,446円（事業実施期間中）
16	マイバッグ運動	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	桑員地域で現在進めている「桑員マイバッグ運動」をさらに推進し、レジ袋削減を図ります。	平成24年度～ 平成28年度	平成20年10月から実施していますレジ袋有料化を継続して推進し、ごみ減量化を図りました。
17	資源ごみ集団回収活動	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	スーパー等の拠点（店頭）回収活動の推進	平成24年度～ 平成28年度	【桑名市】平成14年5月から実施しています市内スーパー等（事業実施期間中：最大時7店舗）の回収活動を行いました。 【いなべ市】市内のスーパー等（3店舗）で、拠点回収を推進して地域全体での資源ごみ等の回収を実施しました。 【木曾岬町】実績がありませんでした。 【東員町】(NPO法人)生ごみリサイクル思考の会が、リサイクルステーション（スーパー2店舗）で、資源ごみの拠点回収活動を実施しました。

18	バイオマス事業拡大	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	BDF、剪定枝等の堆肥化等のバイオマス事業を推進します。また、その他のバイオマス導入を検討します。	平成24年度～平成28年度	<p>【桑名市】実績がありませんでした。</p> <p>【いなべ市】BDFは、民間業者に委託して食用油などの廃油を精製し、ディーゼルトラック等の燃料として再利用しました。また、剪定枝等も民間業者に委託し、市内で破碎処理を行い堆肥化し、市民に配布しました。</p> <p>【木曾岬町】実績がありませんでした。</p> <p>【東員町】家庭等より回収した廃食油からバイオディーゼル燃料を精製し塵芥収集車に使用しましたが、収集車の故障により平成26年8月から燃料製造を中止しました。中止後は廃食油を回収業者に売却しています。</p>
19	市民・事業者	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	役割を明確にし、減量・資源化に取り組みます。	平成24年度～平成28年度	<p>【桑名市】市民に対しては、生ごみ堆肥化容器及び生ごみ処理機の購入支援や生ごみの水切りやマイバッグ持参などホームページにて普及・啓発し、ごみ減量・資源化の推進を図りました。事業者に対しては、小売店と連携した、マイバッグの利用の推進及びスーパー等駐車場の敷地を借り、資源物収集を行いました。</p> <p>【いなべ市】市民に対しては、生ごみ堆肥化容器及び生ごみ処理機の購入助成や生ごみの水切りやマイバッグ持参など広報誌・ホームページにて普及・啓発し、ごみ減量・資源化の推進を</p>

						<p>図りました。事業者に対しては、小売店と連携した、マイバッグの利用の推進及び資源ごみの店頭回収の推進を行いました。</p> <p>【木曾岬町】毎年2回程度「ごみリサイクル等推進協議会」を開催し、市民・事業者のごみ減量化に向けた取り組みの協議をしました。委員は1年ごとに委嘱しており、地域住民組織の代表として団体の代表者やPTA役員・事業所等の代表者、学識経験者として民生委員等に委嘱しました。</p> <p>【東員町】各自治会から選任された2名により構成された東員町クリーン作戦委員会が、減量・資源化の取り組みについて協議を行いました。</p>
	20	生活排水対策	桑名市	水質改善意識の高揚の啓発	平成24年度～ 平成28年度	下水道未普及地域の早期整備を図るとともに、下水道未接続世帯に対する接続の普及啓発ならびに合併処理浄化槽の普及促進を図りました。
処理体制の整備に関するもの	1	あじさいクリーンセンター基幹的設備改良事業	いなべ市	長寿命化計画に基づく基幹的設備の改良工事を行います。	平成24年度～ 平成25年度	平成24年度から平成25年度の2年間で延命工事を行い地球温暖化防止対策に資する設備改良を行いました。(平成24年9月工事着手、平成25年2月完成)
	2	合併処理浄化槽設置整備事業	桑名市	合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に基づき登録された10人槽の設置者に対し補助します。	平成23年度～ 平成28年度	下水道認可区域及び農業集落排水事業区域を除く区域を対象として、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を促

						<p>進するため、合併処理浄化槽設置者に対して、補助金を交付しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>補助基数</td> <td>補助金額</td> </tr> <tr> <td>H23年度：125基</td> <td>46,330千円</td> </tr> <tr> <td>H24年度：108基</td> <td>39,754千円</td> </tr> <tr> <td>H25年度：133基</td> <td>29,918千円</td> </tr> <tr> <td>H26年度：106基</td> <td>14,874千円</td> </tr> <tr> <td>H27年度：118基</td> <td>17,721千円</td> </tr> <tr> <td>H28年度：18基</td> <td>7,932千円</td> </tr> <tr> <td>合計：608基</td> <td>156,529千円</td> </tr> </table>	補助基数	補助金額	H23年度：125基	46,330千円	H24年度：108基	39,754千円	H25年度：133基	29,918千円	H26年度：106基	14,874千円	H27年度：118基	17,721千円	H28年度：18基	7,932千円	合計：608基	156,529千円
補助基数	補助金額																					
H23年度：125基	46,330千円																					
H24年度：108基	39,754千円																					
H25年度：133基	29,918千円																					
H26年度：106基	14,874千円																					
H27年度：118基	17,721千円																					
H28年度：18基	7,932千円																					
合計：608基	156,529千円																					
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価	桑名広域清掃事業組合※	環境影響評価	平成26年度～平成28年度	新ごみ処理施設建設に先立ち環境影響評価を実施しました。																
その他	41	生ごみの一次処理による減量化	桑名市、いなべ市、東員町	家庭から出る生ごみを衣装ケースを用いて堆肥化への一次処理を行い、その後搬入先において二次処理をし、出来た完熟堆肥を住民（生産農家等）へ還元します。	平成24年度～平成28年度	<p>【桑名市】平成24年にリサイクル推進施設にて生ごみ堆肥方法をたね堆肥化に変更しました。平成26年にリサイクル推進施設の運営が、NPO法人への委託から直営となった時点で、生ごみ堆肥化事業は終了しました。</p> <p>【いなべ市】市の農業公園内堆肥舎において、直営で平成25年度末まで完熟堆肥化を行い、住民（生産農家等）へ還元しました。平成26年度からは、この事業を民間委託で実施しています。</p> <p>【東員町】(NPO法人)生ごみリサイクル思考の会に生ごみ堆肥化事業を委託し、実施しました。（平成17年4月事業開始）</p>																

						生ごみ堆肥化事業に意欲・理解のある一般家庭の方が参加されています。出来た堆肥は、参加された方に配布しました。
42	再生利用品の需要拡大事業	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	再生品の消費購入を促進するため、市民・事業者に働きかけを行うとともに、三重県リサイクル製品認定制度をPRして、再生品製造・販売者の育成を図ります。市町においてはエコ商品の購入を拡大し、職員の率先行動への指導を強化します。	平成24年度～ 平成28年度	<p>【桑名市】【東員町】市・町として、エコ商品(作業服等)などの購入を積極的に行いました。(再生利用商品の重要性のPRの方法については今後の検討課題となっています)</p> <p>【いなべ市】市として、エコ商品の購入を拡大しました。職員へは、リサイクル再生品利用の意識向上を図るとともに、率先行動への指導を強化しました。</p> <p>【木曾岬町】町においては、平成14年度に策定した「木曾岬町グリーン購入方針」に基づき環境物品等の購入を継続実施しています。紙類については古紙パルプ配合率70%のリサイクルペーパーを使用しました。広報・議会だより・健康カレンダー等、町が発行する定期刊行物についてもリサイクルペーパーを使用しました。</p>	
43	家電等リサイクルに関する普及啓発	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	各種リサイクル法に基づき、処理することの普及啓発活動を実施します。	平成24年度～ 平成28年度	【桑名市】粗大ごみ受付時に排出方法の案内をチラシ・ごみカレンダー等で啓発しました。なお、平成25年4月に施行された小型家電リサイクル法に基づき市役所に設置した回収ボックスや平成27年に開始した宅配便によるパソコン及び小型家電の個別	

						<p>回収については、より重点的に啓発しました。</p> <p>【いなべ市】各種リサイクル法に基づく処理を啓発推進し、市内の大手スーパー、大手家電メーカー（2社）に協力を依頼し、リサイクルの普及啓発活動を実施しました。</p> <p>【木曾岬町】ごみの出し方ハンドブック、健康カレンダー、ホームページに掲載し普及啓発しました。</p> <p>【東員町】出前講座や回覧等による啓発活動を行いました。</p>
44	不法投棄対策	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	分別区分の徹底とパトロールを行います。	平成24年度～平成28年度	<p>【桑名市】環境監視委員23人（最大時）による啓発及び監視カメラを導入し、不法投棄の防止を図りました。</p> <p>【いなべ市】環境パトロール員（2人）により、市内各町を巡回し市民の不法投棄禁止意識の向上、分別区分の徹底を図りました。</p> <p>【木曾岬町】不法投棄が発生した現場については再発防止策として「不法投棄禁止看板」を設置しました。</p> <p>【東員町】東員町シルバー人材センターに不法投棄防止等パトロールを委託し、実施しました。また、毎年「不法投棄一斉清掃」を行っており、こちらは市民の方や企業からの参加者を募り、清掃活動等を行いました。</p>	

	45	災害時の廃棄物処理体制の整備	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町	災害廃棄物処理を踏まえた体制整備	平成24年度～平成28年度	<p>【桑名市】平成28年3月に桑名市災害廃棄物処理計画を策定しました。この計画に基づき、処理体制の整備を進めました。</p> <p>【いなべ市】災害廃棄物処理計画を県指導のもと平成20年3月に策定しました。この計画に基づき、より具体化した処理体制の整備を進めました。</p> <p>【木曾岬町】木曾岬町災害廃棄物処理計画の平成29年度の策定に向けて検討・協議を行いました。</p> <p>【東員町】災害廃棄物処理スペシャリスト人材育成講座を受講し、人材1人（事業期間中）を育成しました。</p> <p>また、平成28年4月に東員町災害廃棄物処理計画を策定しました。</p>
--	----	----------------	-------------------	------------------	---------------	---

※構成市町のうち、いなべ市を除く

3 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

○排出量

事業系家庭系排出量合計は目標の70,468tに対して実績が68,040tであり、目標を達成することができました。このうち事業系の総排出量及び1事業所当たりの排出量につきましては、共に目標を達成できませんでしたが、これは、大型ショッピングセンターのオープンや道路新設工事関係の事業所の影響によるものと思われます。一方、家庭系につきましては目標を達成しており、資源とごみの分別の徹底を進めてきたことで着実に効果をあげているものと考えています。

○再生利用量

再生利用量の直接資源化量及びこれを含む総資源化量は目標を大幅に下回りました。総資源化量は目標の43,951tに対して実績は38,048tでした。これは、スーパーやドラッグストア等の事業所独自のリサイクルボックスの設置や民間回収業者による無料回収所などによる回収が進んだことによるものと考えています。

○減量化量

目標の23,350tに対して実績が28,383tで目標を大幅に上回りましたが、一概によい結果であったとは言えないと考えています。それは、可燃ごみの多くはRDF化していることから、中間処理で水分を処理するために多量の燃料を要します。そのため、ごみ処理施設の入口部分では生ごみは水分をよく切って減量することを啓発しています。今回の結果は生ごみの水切りが十分でなかったとも考えられるため、今後も引き続き啓発を行っていきます。

○最終処分量

目標の3,699tに対して実績が2,671tとなり、目標を達成することができました。

(生活排水処理)

本市の生活排水処理は、公共下水道の整備を主としており、下水道認可区域及び農業集落排水事業区域を除く区域においては、合併処理浄化槽の整備及び単独処理浄化槽・くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を推進してきました。

平成23年度～平成28年度までの浄化槽設置整備事業による設置基数は、計画700基に対して、実績608基となっております。また、事業費については、計画260,256千円に対して、実績156,529千円となっております。

実績が計画を下回った要因としては、公共下水道における認可区域の拡大や新築・改築等に伴う合併処理浄化槽設置者への補助金廃止等が影響していると考えられます。

しかしながら、平成29年度末時点における生活排水未処理人口はまだまだ多い状況であり、生活環境の改善はもとより川や海などの公共用水域の水質汚濁の防止を図っていくためには、今後も引き続き、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業を進めていく必要があります。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

循環型社会地域計画に基づき、ごみの発生抑制、処理体制の構築、処理施設の整備等の施策が実行され、家庭系ごみの排出量の減少や最終処分量の減少について目標が達成されており、地域の循環型社会形成に向けて一定の成果を上げていると評価できます。

一方で、事業系総排出量（1事業所あたり排出量含む）は目標を達成していないことから、事業者に対してごみ減量の啓発など事業系ごみの発生抑制に向けた対策が望まれます。

さらに、再生利用量は目標を達成していないことから、市民及び事業者に対してごみ分別排出について周知徹底するなど循環型社会形成に向けた更なる取組が望まれます。

(生活排水処理)

桑名市は公共下水道による整備を主としており、下水道の整備区域及び集落排水施設の整備区域外で合併処理浄化槽の整備が行われています。平成23年度～平成28年度に608基の合併処理浄化槽を整備されて、合併処理浄化槽等の汚水処理人口普及率は目標(目標12.7%、実績12.7%)を達成しています。しかし、汚水処理未処理人口の実績(平成29年度・18,978人)は、現状(平成22年度・29,303人)より大幅に減らすことができましたが、目標(平成29年度・18,153人)を達成することはできませんでした。